

水俣病公式確認70年地域提案事業 事業実施概要

	実施主体	開催地	イベントの名称	事業概要	開催時期
1	石川さゆりコンサート等実行委員会	水俣市他	石川さゆりコンサート等事業	水俣病及び障がいを負ってきた70年の思いを発信するため、①石川さゆりコンサートを開催し、②付帯事業として映画上映会、ビッグサップ体験交流会、パネル展を実施する。	①R8.11.21 ②R8.6月～11月
2	(特非)おもいでつくる水俣	水俣市	水俣の海を楽しく体験『ヒメタツ学校』スタート事業	海の体験活動に参加しやすい環境整備や人材育成を図るため、水俣病や環境を学ぶ「ヒメタツ学校」を無料開校するとともに、ヒメタツサポーターの創設とネットワーク化、リーダー育成に取り組む。	R8.8月～R9.2月
3	(一社)きぼう・未来・水俣	水俣市	いのちこそそのさりさらに もやいを未来につなぐ一歩	胎児性・小児性患者等、障がいを持つ人たちが、多くの市民と共同で次世代を担う子供たちにも水俣病の教訓を発信していくため、東京民族歌舞伎団「荒馬座」公演を開催する。フィナーレはで「2001水俣ハイヤ」を患者や子供、市民と一緒に踊る。	R8.10.24
4	自然とくらし研究会	水俣市他	「水俣、食べられない」から「水俣、食べる」へ	水俣食べる通信のこれまでの取材活動を基盤に、水俣の現在の姿と地域の価値を広く発信するため、①水俣市内での展示企画、②関東・関西・福岡の各地でトークイベントを実施する。	①R8.8 ②R8.11月～12月
5	自然処	水俣市	水俣・光の流域再生プロジェクト「小さな光で、もやう流域の未来」	水俣病の教訓を踏まえ、環境変化に気づき続ける社会の構築、人と自然・人と人の関係性のもやい直しを目的に、蛍を指標とした市民参加型の自然・地域再生の取組として、再生田の環境改善やシンポジウム、子供主体の情報発信等を実施する。	R8.6月～R9.3月
6	不知火海ローカルフードネット	水俣市	不知火海の恵みを分かち合う食と対話の場づくり事業	地域の自然と人との関係を見つめ直し、食を通じてもやい直しを図るため、参加者が食材を持ち寄り、料理人が即興で料理する「ギブミーベジタブル」を開催し、同時に地域の風土や暮らしに根ざした音楽ライブやトークショーを実施する。	R8.12月
7	水銀に関する水俣条約推進ネットワーク	水俣市	子どもへの水銀の影響国際シンポジウム事業	水銀が発達段階の子供に与える影響を考え、警鐘を鳴らすとともに、水銀条約の議論の促進につなげるため、フィリップ・グランジャン博士をデンマークから招き国際シンポジウムを開催する。併せて、胎児性患者と交流する機会を設ける。	R8.9.26～27
8	チツソ水俣病患者連盟	水俣市他	かたる、つながる、新潟と水俣	映像作品の鑑賞をとおして、水俣病を語り伝え、発生当時を知らない世代が水俣病を表現し、その輪を広げるため、「春、阿賀の岸辺にて」と「おあがりんちょ」の上映会とトークショーを開催する。	R8.10.23～24
9	火のまつり実行委員会	水俣市	火のまつり30周年記念事業	30数年のもやい直しの歴史を振り返り、未来に向けて火のまつりを伝えていくため、火のまつり30周年記念誌及び広報リーフレットを作成するなどし、火のまつりともやい直しの周知を行う。	R8.11月
10	本願の会	水俣市	「水俣祈りの日」の創設と魂石祈りの書写真集出版	祈りとは失われた本当の願いを聞き届けることであり、失われた命と対話を持つことは今後の水俣にとって必要なひと時であるため、「水俣祈りの日」を創設するとともに、命との対話を手助けするための文言録をちりばめた写真集を作成する。	R8.10月

水俣病公式確認70年地域提案事業 事業実施概要

	実施主体	開催地	イベントの名称	事業概要	開催時期
11	(一社)水俣・写真家の眼	水俣市他	巡回写真展「水俣からあなたへ」(仮称)の開催	水俣や日本各地の方々とで出会い直し、水俣病とは何だったのかを改めて考える契機とするため、写真展「水俣からあなたへ」(仮)を水俣市、関東等で開催するとともに、写真家や関係者によるトークイベントを開催する。	R8.11月～R9.1月
12	水俣の歴史的遺構(跡)を残す会	水俣市	水俣病関連遺跡は日本および世界の近代産業遺産であり宝物	百間塘、排水口樋門等の以降の価値を専門的調査から考察し、一帯が水俣病事件の過酷さを記憶している水俣病の原点であることを明確にするため、チツソの元労働者や研究者による①フィールドワーク、②シンポジウム等を実施する。	①R8.7.6～8 ②R8.11月
13	(特非)水俣病協働センター	水俣市他	「未来を守る」～水俣とベトナムの声から～	水俣病とベトナムの教訓から環境を守る必要性を伝えるため、①ドクさんを水俣に招いて、坂本しのぶさんや専門家らとの講演を開催し、②沖縄においてドクさんと坂本しのぶさんで水俣やベトナムの教訓について講演を開催する。	①R8.12.4～7 ②R8.12.8～11
14	水俣病被害者・支援者連絡会	水俣市	水俣病公式確認70年 文化企画	水俣病の課題や問題点を国民世論に訴え、水俣病問題を国民的課題として問題提起していくため、①創作演劇鑑賞(劇団天然木)、②水俣に生きる「写真・絵画・書道展示」及び創作ダンスを実施する。	①R8.7.25 ②R8.9.23～26
15	(一社)水俣病を語り継ぐ会	熊本市	水俣病を伝える音楽朗読劇と合唱の世界	患者家族や市民の経験・教訓を後世に活かし、水俣・芦北地域の魅力を再認識してもらうため、熊本市国際交流会館大ホールにて「水俣病を伝える音楽朗読劇と合唱の世界」を開催する。	R9.2.13
16	みんなで作る水俣未来対話実行委員会	水俣市他	みんなで作る水俣未来対話ー100人の市民ファシリテーターとつくる	水俣市民が自ら異なった立場や価値観の人たち同士や傷ついた関係の中でも対話する力をつけ、ともに水俣の未来について継続的に対話していく土台づくりを目的に、対話ファシリテーター・対話リーダーを育成し、「水俣未来会議」を開催する。	R8.6～R9.3
17	(株)えがお	熊本市	水俣病公式確認70年地事業 演劇「風を打つ」特別講演	長年にわたり地域に深い傷を残してきた差別・偏見・文壇の歴史を演劇をとおして人間の物語として再解釈し、地域の再生と融和につなげることを目的として、演劇「風を打つ」の特別講演に合わせトークショー等サイドイベントを実施する。	R9.2月
18	(特非)くまもと地域自治体研究所	水俣市	水俣市民の健康・生活・まちづくりに関する実態調査の報告事業	水俣病を含めて水俣市民の地域課題を明らかにし、その結果を地域住民と共有することで、今後の地域づくりの活動に活用してもらうため、水俣市民の健康・生活・まちづくりに関する実態調査結果の報告会を開催する。	R8.9月～12月
19	公害資料館ネットワーク	水俣市	水俣病の経験を未来につなぐー公式確認70年・水俣からの発信	水俣が有する歴史的経験を国内外に発信する機会都市、地域の歴史的価値の再認識と次世代への継承に寄与するため、国立水俣病総合研究センター等が主催するNIMDフォーラム2026と連動したシンポジウムを開催する。	R8.12.13
20	(特非)水俣フォーラム	東京都	水俣病70年展において取り組む特別展示	これまでの展示に加え、70年の特別展示により、水俣病の経験・教訓の一層の継承を図るため、若い世代が集まる東京・渋谷ヒカリエホールにおいて11月25日から12月3日までの間、3～5万人規模の水俣病70年展を開催する。	R8.11.25～12.3